



當山 直彦 議員

福祉の人材不足・資源不足 対策について

質 障がい者の買い物支援や移動支援などの対策をどのように検討しているのか伺う。

答 福祉課長（石川 司）

現在、新たなヘルパー登録がない状況で生きがいづくりのための障がい者支援には至っていない。今後も引き続きヘルパーや新規事業者の確保を関係機関と情報共有して推進します。

金武地区消防との連携による安心・安全な地域づくりについて

質 救急医療情報キット作成に至る取り組み状況を伺う。



宮崎 匠 議員

放課後児童支援員の処遇改善について

質 村内4か所の放課後児童クラブの代表者、職員の方々と意見交換を開催した際に、全ての放課後児童クラブの方々が「村の上乗せ支給」による処遇改善を行ってほしい。今の条件のままでは若い働き手が来ない。」という声をいただきました。この現状を改善していくためには、国、県が行っている放課後児童支援員等の処遇改善の補助に村単費の上乗せで、更なる処遇改善が必要であると考えますが、執行部の見解を伺う。

答 福祉課長（石川 司）

各クラブ代表から処遇改善についての意見もあり、定着率の確保にもつながると考えています。処遇改善においては、学童クラブのみならず、特に福祉部門の事業で人材不足で事業所

答 福祉課長（石川 司）
村職員が中心となり、他の市町村の取り組みを参考に、金武地区消防衛生組合と構成市町村で協議を行い取り組んでいます。

提 救急医療情報キットの周知に関して広報やホームページを活用するだけでなく、公民館やケアマネージャー、社協、福祉事業所等と連携して必要な方へアウトリーチも行うようお願いします。また、今後も消防と積極的な情報共有、連携強化を図ることにより安心・安全な村づくりに励んでいただきたい。

本村の交通事情について

質 ジャングリア開園に伴う本村の交通機関への影響を伺う。

答 企画課長（喜久山 隆）

オープン前なので本村の交通機関へどれほどの影響があるのか見当が付きません。

質 村としては関係機関へ要請などは行っているのか。

答 建設課長（當山 国博）

沖縄振興予算要望に向けた意見交換会などで、国や沖縄県に瀬良垣以北の国道58号線の4車線化、屋嘉イン

ター名護向け車線の新設、県道104号線の改修工事を要望しています。

子供たちが考える村づくりについて

質 恩納村みらい絵作文コンクール の目的と受賞作品の評価及び村政に反映させる具体策を伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

児童生徒の皆さんに恩納村に生きる主体者として、幸せになるためにはどのような未来を期待するのか考えることを目的としています。またどの作品にも自分の生きる恩納村の未来に思いが込められていますが、現時点で作品に描かれた未来像を村政に反映させるための具体的な検討は行っていないです。

質 仲泊小学校4年生が福祉教育の一環で地元の視覚障害の方と一緒に地域を歩き、課題を見つけ、音の出る信号機の設置や段差のある歩道の整備等を求める要望書を提出した件に関して、子供たちが主体性を持って学び、気づきを大人に訴えています。それに対して見通しの持てる回答をすべきです。そこを怠ると子供たちは相手にされなかったと思ひ不信感を

抱く可能性があります。村内利用者の状況、運営体制、経営状況などの話し合いを行い、その中で21名の利用者登録があるが、日常的に利用している児童生徒は8名から10名程度で、経営状況はぎりぎり運営している状況と報告がありました。また送迎時間の地域間移動で時間がかかり、サービス提供の時間が限られているとの話もあり、行政と連携し、地域全体での支援体制を整えることが重要であるとの意見が多数ありました。新たな放課後等児童サービス（ササ）の設置については、持ち帰って希望したいとの話があり、引き続き放課後等児童サービス（ササ）の設置においては、行政として継続して協議をしていきたい。

村内各小学校の遊具の修繕及び新規の導入について

質 現在、本村の各小学校において遊具が少なくなっている現状にあります。その理由として、老朽化や事故の増加、安全性への配慮などが挙げられますが、以前は現状よりも多くの遊具が設置されていたことを記憶しています。実際に保護者の方から「小学校の遊具が少ない。もっと遊具を充実させてほしい。」子供たちの遊び場や遊具などがどんどん少なくな

り、困っている。」という声をいただきました。この現状も踏まえ、村内各小学校の遊具の修繕及び新規の導入が急務であると考えますが、執行部の見解を伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

遊具が少なくなっているということは確認できています。遊具の修繕については、児童の安心・安全性を確保するためにも早急な対応が必要と考えています。新規の導入については、毎月開催されている校長会などにおいて確認と情報共有を図りながら児童の安全性などの確保も考慮しつつ検討していきたい。

提 最も大切なのは、子供が楽しめる環境づくりだと思います。やはり学校は子供が主役となる子供のための場所であると思いますので、大人の都合ではなく、子供の目線に立った環境整備も含めて取り組んでいただきたい。



▲遊具撤去後の現状